

淀川河川公園上流域地域協議会

～今後の協議会の運営について～

はじめに、原点を振り返ります。

魅力的な公園づくりとは？

公園管理者が進める**ハード整備**と**管理**

+

公園利用者が“彩り”を添えてくれる**ソフトの充実**

この二つを両輪で進めること

あえて言えば...

公園のハード整備は、ソフトを充実させるために行うもの

そこで

まずは、ソフト（来園者に提供するサービス・プログラム）から



上流域で展開するプログラムとは

上流域でしか体験できないサービスを、
近畿圏域の人々に提供するためのプログラム

「上流域でしか体験できないこと」とは

- ・ 上流域の各河川公園の地形、環境、施設の特性
- ・ 全国でも珍しい、三つの川が合流するところ
- ・ 天王山や男山などの自然環境と、美しい景観
- ・ 悠久の歴史を刻む、地域のさまざまな文化資源
- ・ 左右岸が接近し、地域の距離感が縮まる場所
- ・ 地域振興の要としての役割が期待されているSC

これらを一体的
に活用し、上流
域ならではの魅
力を発信

具体的なプログラムの例

河川公園区域、水面、サービスセンターを活用した、来園者をもてなす多彩なプログラムをパッケージとして提供。

野外学習プログラム



- ・バードウォッチング
- ・川のいきもの観察会
- ・植物画講座 等

イベント・プログラム



- ・竹細工等のクラフトづくり
- ・森のコンサート
- ・三川合流ジャズフェスティバル 等

健康促進プログラム



- ・ウォーキングコース
- ・ジョギングコース
- ・マラニック大会 等



室内プログラム

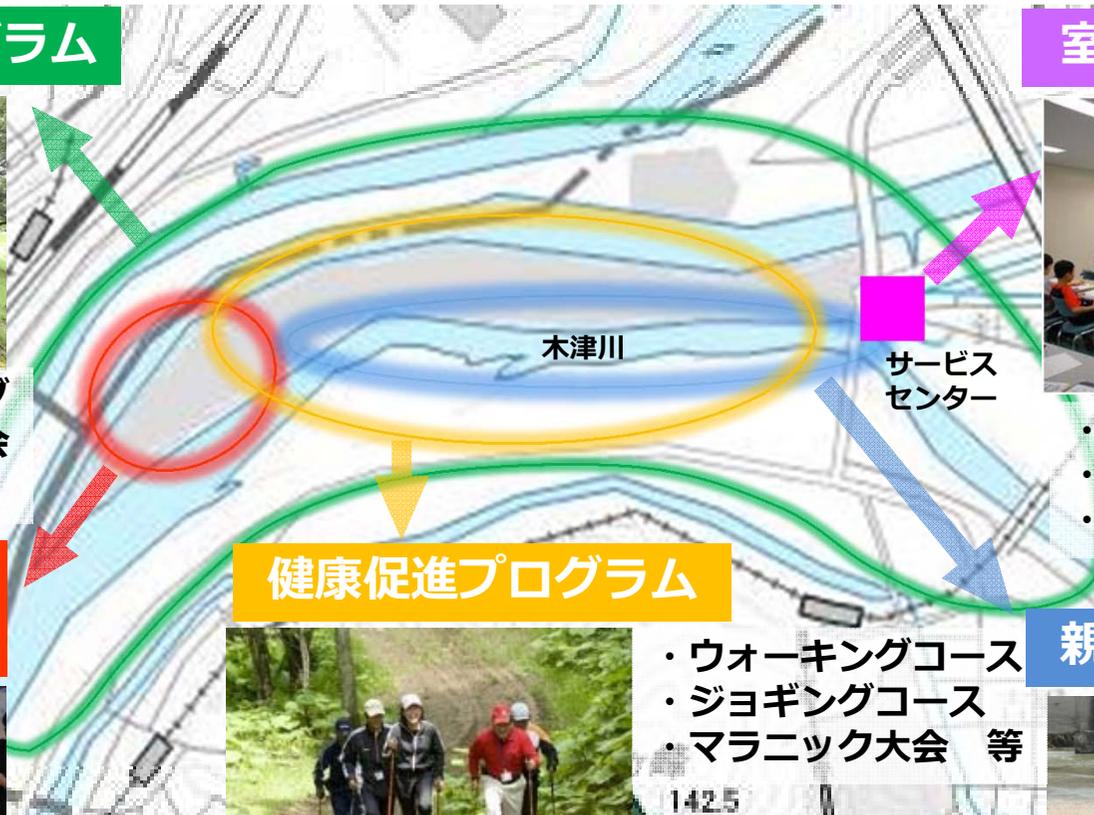


- ・淀川を知る講座
- ・環境学習セミナー
- ・歴史探訪講座 等

親水プログラム

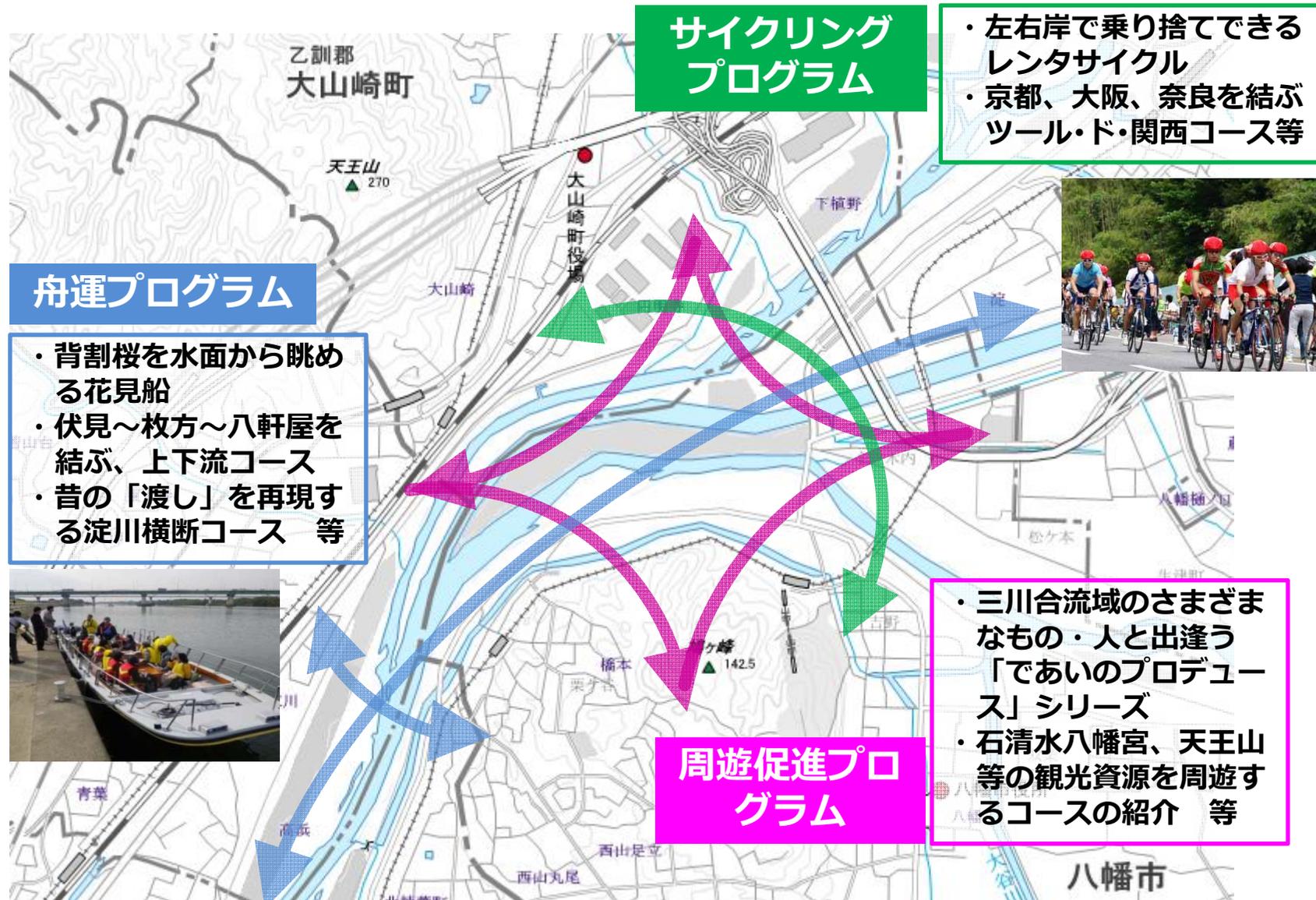


- ・浅瀬での遊泳
- ・カヌー教室
- ・川ながれ大会 等



さらに広域に目を向けると

左岸と右岸、上流と下流など、地域と地域を線でむすぶ、さまざまな事業を展開。



これらのプログラムのいくつかは、すでに試行を進めています。

展開中

29年3月のサービスセンター・オープンに向けて、新たな三川合流域に注目していただくためのイベントの試行、地域の特産品のPR・販売の試行等のプログラムを展開中。

● 背割堤地区のイベントプログラム



背割堤秋の満喫プラン (H27.11)



熱気球による
展望塔疑似体験



地域特産の野菜販売

● 周遊促進プロジェクト
出合いのプロデュース「甘いモノ編」



ここでもう一度

魅力的な公園づくりとは？

公園管理者が進める**ハード整備と管理**

+

公園利用者が**“彩り”を添えてくれるソフトの充実**

この二つを両輪で進めること

あえて言えば...

公園のハード整備は、ソフトを充実させるために行うもの

そこで

御幸橋野草地区（仮称）では、いままでにご紹介した、さまざまなプログラムを充実させるために必要な、公園整備を行います。

御幸橋野草地区（仮称）の公園整備の考え方（案）

整備方針 まるまる一日、三川合流域を満喫していただくために、木津川の水面を挟む2つの公園区域を一体的な利用を図る空間として整備し、さまざまなプログラムをパッケージとして提供できるようにする。



平成 27 年 1 月撮影 昨年度協議会に提示した整備計画案からマイナーチェンジをしているが、基本的な考え方は引き継がれている。

協議会委員の皆様をお願いしたいこと

プログラムを充実させるために必要なこと（例）

複数のプログラムを
パッケージで提供

親水プログラム

木津川で遊泳を実現するには、川の流れのクセ、深みのある場所など、利用者の安全確保のために知っておくべきことは何なのか？

+

野外学習プログラム

上流域の公園区域で“楽しみながら”自然を学んでもらうためには、どのような見どころ、着眼点を紹介したらよいのか？

+

イベント・プログラム

「渡し舟」を再現するイベントを企画したいが、かつてこの場所にはどのような渡しがあったのだろうか？

昔、木津川の水泳場で泳いだことがある体験者の方を、ご紹介いただけないでしょうか？
また、古い写真をお持ちの方はいらっしゃらないでしょうか？

上流域の動植物に詳しい方、季節による見どころのポイントをご存知の方、ガイドのノウハウをお持ちの方を、ご紹介いただけないでしょうか？

きつねの渡し、広瀬の渡し、山崎の渡しがあった場所や、それぞれの違いについて詳しい情報をお持ちの方を、ご紹介いただけないでしょうか？

協議会委員の皆様をお願いしたいこと

プログラムの企画にあたり、お知恵を貸して戴ける方のご紹介

プログラムの企画を行うプロジェクトチームへのご協力

よろしくお願いたします！

今後の上流域地域協議会の運営体制

サービスセンターの開園を契機に、上流域で展開する多彩なプログラムを効率的に企画・運営するために、より実行力のある協議会とするためにどのような体制が望ましいかを協議。

公園管理者から、以下の提案をいたします。

● 上流域地域協議会の位置づけ

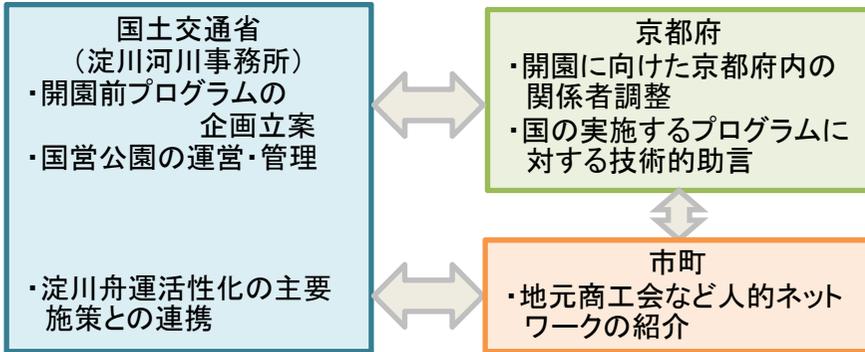
- ・ 上流域の公園利用者に提供するプログラムが充実したものとなるよう、各種プログラムの企画・実施に有用なアドバイスをいただける方々の紹介など、**各委員の得意分野での支援**をいただく
- ・ 協議会を、上流域で展開する**プログラム等の「実施状況の報告・助言の場」**とする

● 上流域地域協議会のメンバー構成

- ・ 三川合流域の地域振興につながる事業展開を進めるため、**協議会のオブザーバーとして地元の観光関係団体等**の参画を得る

平成29年3月を予定している三川合流域サービスセンター（SC）開園に向けた、地域振興の展開と、背割堤地区との一体的な利用を見据えた御幸橋野草地区の活用手法を検討。

◆ 淀川三川合流域地域づくり構想を踏まえたSC開園に向けて、地元自治体と京都府・国が連携し、以下のプログラムを展開中



● 公園利用プログラムの試行



背割堤秋の満喫プラン

● 周遊促進プロジェクト



協働広報(リーフレット作成)

● SC供用の一年前広報



物販企画

トークセッション

● 船着場の整備



背割堤船着場(3月完成)

<現在展開中のプログラム>

(1) モデル地区

- ・三川合流域サービスセンター(背割堤地区)
- ・御幸橋野草地区
※水無瀬ゴルフ場跡地は、河川管理者の進捗に併せて、議論の対象とするかを今後判断

(2) 検討内容と具体の課題

① 施設活用と地域振興

サービスセンター、背割堤地区及び御幸橋野草地区(仮称)の一体的な利用を前提に、SCを拠点とした淀川河川公園の利活用プログラムを検討

② 植生管理

御幸橋野草地区(仮称)をモデルに、新規開園地区における、管理コストの縮減と粗放管理を両立させる植生管理のあり方を検討(今後の検討)

(3) 直近の事業展開

2月	3月	4月	...	8月
● 周遊促進プロジェクト ・協働広報(リーフレット作成)		● 桜まつり ・リーフレット配布 ・物販企画(春バージョン) ・一年前広報		● 七夕まつり(8月) ・協働広報第2弾 ・物販企画(夏バージョン) ・水辺プログラム他、複数プログラム試行

8月の七夕まつりをめざして、複数のプログラムをパッケージとして提供する試行を実施。小さな成功を積み重ねていきます。ご協力を、よろしくお願いいたします。